

2004年7月16日

会社名 株式会社 大丸  
 コード番号 8234  
 代表者名 取締役会長 奥田 務

## 2004年6月度 大丸 連結営業報告

### 1. セグメント別売上高対前年増減率(%)

	6 月 度	3 ~ 6 月 累 計
百貨店業	6.2	3.2
スーパーマーケット業	1.4	3.0
卸 売 業	0.0	0.7
その他事業	1.4	1.7
連結合計	4.6	2.4

(注) 売上高にはその他営業収入を含めていない。また、各事業の売上高には連結会社間の売上高を含む。

### 2. 百貨店業 売上高概況

#### 1) 店舗別売上高対前年増減率(%)

	6 月 度		3 ~ 6 月 累 計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
心齋橋店	6.0	8.1	3.2	5.3
梅田店	7.0	4.3	3.9	4.8
東京店	7.0	2.4	3.0	0.4
京都店	2.1	8.1	0.5	12.0
山科店	3.4	-	2.5	-
神戸店	9.6	4.5	0.7	0.7
新長田店	7.0	-	9.6	-
須磨店	1.5	-	4.9	-
芦屋店	4.2	-	2.6	-
札幌店	7.6	2.9	0.8	28.2
直営10店舗計	5.2	2.6	2.0	6.5
博多大丸	11.4	3.8	8.0	1.2
下関大丸	9.6	9.4	7.3	4.8
高知大丸	9.7	13.0	4.8	2.6
今治大丸	3.0	6.1	4.3	5.5
百貨店業合計	6.2	-	3.2	-

(注) 直営店の入店客数合計の対前年増減率は、心齋橋、梅田、東京、京都、神戸、札幌の6店計である。

#### 2) 直営店 商品別売上高対前年増減率(%)

	6 月 度	3 ~ 6 月 累 計
紳士服・洋品	11.3	3.3
婦人服・洋品	6.5	2.1
子供服・洋品	9.9	4.5
その他の衣料品	8.3	4.0
衣料品計	7.9	2.6
身の回り品	9.4	3.4
家具	13.2	2.3
家電	24.9	37.0
その他の家庭用品	9.9	7.3
家庭用品計	9.3	3.8
食 料 品	1.1	0.5
食堂・喫茶	9.9	10.1
雑 貨	0.4	0.0
サ ー ビ ス	10.0	3.0
そ の 他	15.1	2.2
合 計	5.2	2.0

### 3. 概況

#### 1) 百貨店業

- ・6月の百貨店業の売上高は、日曜日が1日減であったこと、下旬に台風が関西を直撃したこと、クリアランス待ちの影響が強く出たことなどもあって、直営店、関係百貨店ともに不振で、トータルで対前年 6.2%減であった。
- ・直営店の店別売上高は、札幌店は7.6%増と2ヶ月連続で前年を上回ったが、その他は前年を下回った。札幌店は婦人服を中心に衣料品全体で対前年2桁増となるなど好調に推移した一方、神戸店は前年6月に実施した自社カード顧客向け販促を本年は5月開催に変更したこともあって苦戦した。
- ・商品別では、婦人・紳士ともに衣料品が後半になってセール待ちの買い控えが顕著となり、軒並み不調。一方、食品は依然として京都店食品フロア改装効果が持続したほか、各店でお中元ギフトの早期受注が順調であったことも加わり、前年を上回った。
- ・関係百貨店では、博多大丸は近郊に大型SC(6/2ダイヤモンドシティ)が新規オープンするなど、同業だけでなく業態を超えた競合が一段と苛烈化したこと、前年の開業50周年記念特販の反動などもあり、対前年 11.4%減となった。

#### 2) その他

- ・スーパーマーケット業の大丸ピーコックの売上高は、関東地区では対前年 0.4%の微減にとどまったものの、関西地区が同 2.7%減となり、トータルでは同 1.4%減となった。
- ・卸売業の大丸興業の売上高は、電子関連部品や畜産品は好調であったが、一方で、生活・産業資材の不振もあって、トータルでは前年並みとなった。

お問い合わせ先	株式会社 大丸グループ本社	広報・IR部
	TEL	06-6281-9002
	FAX	06-6245-1343